

まんぞくいなりじんじゃ　ひたきさい

満足稲荷神社 火焚祭

厄を祓う清き炎

満足。ちょっと気になる名前を持つ満足稲荷神社は開運、商売繁盛のご利益で人々からの信仰を集め、「満足さん」と呼ばれ親しまれています。この名前は豊臣秀吉がこの神社で出世を祈願し、願いが叶えられ満足したことに由来すると伝えられています。

火焚祭は11月の行事であり、秋の収穫・厄除け・地域の安全などを祈願し、境内に木を組んで造る護摩壇に火をおこし、その中へ護摩木を入れて燃やします。ごうごうと燃え盛る炎は力強く、寒さが増していく季節には人々に温もりを与えてくれます。当日は境内の拝殿で神事が行われ、雅楽の美しい音色を生演奏で聴くことができます。また湯立神楽の儀式も行われ、参加者の諸災を除き無病息災などを願います。熱湯が飛び散る様は見ていて圧巻です。

左京区の中でも南の端に位置し、少し歩くと知恩院や青蓮院、平安神宮がある京都散策にはぴったりのスポットです。

護摩とは

護摩とは、密教で護摩壇を設けて護摩木を焚き本尊に祈ることです。インドで行われていた神に豊作や幸福を祈願する儀礼を取り入れたものです。

護摩壇とは護摩木を燃やす場であり、護摩木とは、無病息災などの願いを書く木製の板です。

古来より火には神様が宿るとされ、護摩木を焚くことにより火の神様の力で汚れや罪が祓われ、護摩木に書かれた願いが叶うと言い伝えられています。



祭事 info

11/8 昼 14:00〜15:30

京都市左京区東大路仁王門下る東門前 527-1

市バス（31・201・202・203・206系統）「東山仁王門」徒歩すぐ
地下鉄東西線「東山」徒歩1分

075-771-3035　P 駐車場なし



よしだじんじゃ　せつぶんさい

吉田神社 節分祭

視えない彼らの存在を認めることの大切さ

多くの参拝者で賑わう吉田神社の節分祭。節分当日をはさみ、前日祭・当日祭・後日祭で構成されます。

前日祭の朝、斎場所大元宮で行われる疫神祭では、疫神に対し次なる年も荒ぶることなく山川の清き地に鎮まるよう、門外に向かいお供えをし、祝詞をあげ、散米散酒を行い鎮めます。この神事では疫神との共存を認め、絶対悪の存在を否定しないという日本人固有の文化が見受けられます。同日夜の追儺式は「鬼やらい」とも呼ばれ、境内では恐ろしい形相の三匹の鬼が金棒を勢い良く振り回しながら暴れまわります。最後には厄払いとして桃の木でできた弓で葦の矢が放たれ、疫鬼を追い払います。これは、物事の災いの根源を浄化することを意味しています。

当日祭の23時からは火炉祭が行われます。この神事は古いお札・お守りの神霊に、在るべき場所に還ってもらう意味があります。納められたお札などは5mほどの高さに組み上げられ、祝詞をあげた後に斎火が点けられます。神霊たちが還る姿を感謝の気持ちとともに見送り、新しい1年の無病息災を願います。



火炉祭の注意事項

2015年と2016年の2年間、火炉祭では火炉には斎火は点けられませんでした。これは環境問題や近隣住民への配慮のために取られた異例の措置です。

本来火炉は、古くなったお札・お守りをお炊き上げするもの。人形や写真、石油製品などを納めることはご遠慮いただくよう、吉田神社でも注意を呼びかけているそうです。

祭事 info

2/2.2/3 朝 8:00〜

2/4 朝 9:30〜

京都市左京区吉田神楽岡町 30

市バス（31・65・201・206系統）
「京大正門前」徒歩8分

075-771-3788　駐車場なし

左京区 踊りのわ



P23 男 女
市原ハモハ
ハモハノアミダ〜

P46 男 女
広河原ヤッサ踊り・ヤッサコサイ踊り
下駄を鳴らす音と手拍子でリズム取り

P04 男 女
鉄仙流白川踊
練習の成果を皆で踊る

P30,31 男 女
松ヶ崎題目踊
扇子を表に裏に

P30,31 男 女
松ヶ崎さし踊
妙法の2文字を背負いながら

P29 男 女
八瀬赦免地踊り
僕たちは女装！
私たちは綺麗におめかし♪

P23 男 女
市原鉄扇
音頭取りの歌だけで

P27 女
上高野念仏供養踊
亡くなった方の供養のために

P40,41 男
久多花笠踊
自分が作った花笠を片手に

P28 男 女
大原八朔踊
豊作への感謝を込めて

P07 女
修学院大日踊り・紅葉音頭
頭の手拭の紅葉は地域の方の手書き

P10 女
一乗寺鉄扇
ドッコイ！ソーレ！

インタビュー
踊り継ぐ工夫は？



7月上旬、小学校で練習会あるよ〜
4,5日前にもリハーサルするんだ。
当日も本番の前に講習会してるよ！

鉄仙流白川踊



さし踊りの音頭は月に1回練習しているよ。
その楽譜もあるんだ！踊りの練習会もあるし、
DVDで記録もしてあるよ〜

松ヶ崎題目踊・さし踊



歌をみんなで練習！
歌詞をまとめた冊子もあるよ〜

久多花笠踊



移り住んできた人も大歓迎！
音頭取りは口頭とか録音テープで継承しているんだ。
近くの小学校でも授業の一環として教えてるんだよ〜

修学院大日踊り・紅葉音頭



地域に根付く
まちのつながり

中部



有名な鞍馬の火祭が行われるのはこの地域で、鞍馬の他にも中部の火祭りはとても派手で美しいものばかり。また、踊りの伝統行事も多く、古くから伝え受け継がれてきた貴重な踊りを見ることができます。見たら二度と忘れることができないような、そんな驚きと感動が詰まった伝統行事が中部にはたくさんあります。火祭りと踊りが多いことが中部の伝統行事のおもしろさですが、どの伝統行事もそれぞれ違った印象や伝統が感じられます。



ながたにはちまんぐう　ゆたてさい

長谷八幡宮 湯立祭

振りまくお湯で汚れを祓う

新緑を横目に傾斜の緩やかな参道を上っていくと長谷八幡宮があり、4月29日には湯立祭が行われています。湯立祭では、ぐつぐつと煮えたぎらせた湯の音で五穀豊穣を占い、湯立神楽を行います。湯立神楽（ゆたてかぐら）は、日本の伝統的な神楽の形式の一つで、神前の大釜で湯を沸かし、巫女が熱湯に笹の葉を浸して自分の身体や参拝人に振りかける儀式です。

まず鈴を手にした巫女が笛や太鼓の音に合わせ祓神楽（はらえかぐら）を舞い、大釜の前まで進んで塩を撒いて大釜を清めます。湯の中に米と御神酒（おみき）を入れて、巫女が祓串（はらえぐし）を持って舞ったあと、無病息災・願望成就を願って両手に持つ笹で湯をまき散らせて参拝者一同を祓い清めます。

ふわりと湯気が煙のように立ち上る様子は長谷八幡宮の厳かな雰囲気と相まって幻想的です。

木々のトンネルを潜ると

神社は山に近く、多くの木々に囲まれているため秋には美しい紅葉を目にすることができます。また、神社へ向かう道は並木道になっており、枝が道を覆うように伸びているためアーチのようになっています。木々の清らかな空気を吸い、トンネルを潜りながらまるで神聖な世界へ入っていくように感じられます。鳥居のある場所は少し開けており、光が差し込むと更に神々しく輝いて見えます。



祭事 info

4/29　朝 10:00〜11:00

京都市左京区岩倉長谷町 1117

京都バス（29系統）「長谷八幡宮」徒歩すぐ

075-722-2707　P 駐車場あり

いちはらちょう　いちはらはもはおどり・てっせん

市原町
市原ハモハ踊・鉄扇

京都市登録無形民俗文化財



てっせん印の赤提灯の中で

普段は駐車場として使われている広場に「てっせん」の文字が書かれた赤い提灯が吊るされ、市原ではおなじみのお盆の光景が広がります。

集まった人々は櫓（やぐら）を中心に「ハモハ踊り」という珍しい踊りを含め、「鉄扇踊り」、「江州音頭（ごうしゅうおんど）」の3曲を披露し、盆の終わりに先祖の霊を送り出します。ハモハ踊りは、全体的におおらかで、締め太鼓や鉦（かね）のリズムに合わせて踊ります。鉄扇踊りはハモハ踊りとは違い、楽器を使わずに音頭取りの唄だけで踊ります。

男衆の中には「市原ハモハ」という文字が書かれた浴衣を着用している人もいて、踊りへの愛着を持ち取り組んでいる様子が伺えます。大人たちに元気に挨拶をしている子どもも多く、地域のつながりや温かさを感じます。

伝統的な「ハモハ踊り」と近代的な「鉄扇踊り」、二つの違いを見比べてみるのも一つの楽しみ方です。

ハモハって何？

ハモハ踊りは伝統的な盆踊りであり、手を上にあげる動作は死者の魂を天に送るという意味合いがあります。また「ハモハ」という言葉は、念仏踊りの際に歌われる「ナムアミダブツ」が訛り「ハモハノアミダー」に変化したことがはじまりとされています。

鉄扇踊りは近世に流行したもので、ハモハ踊りとは違い、リズミカルに流れるような踊りです。



祭事 info

8/16　夜 20:00～　中止

京都市左京区静市市原町（川島織物セルコン駐車場内）

京都バス（32・34・35・40・50・52系統）「小町寺」徒歩4分
叡山電鉄「市原」徒歩6分

075-741-2424（市原ハモハ尼講中）　P 駐車場なし

鞍馬寺

くらまでら　くらまやまたけきりえしき

鞍馬山竹伐り会式

京都市登録無形民俗文化財



一振りに想いを込めて

竹伐り会式とは破邪顕正（はじゃけんしょう）と水に感謝する千年の古儀で、大蛇を仏法の力で倒した故事に由来します。「近江座」と「丹波座」に分かれ、青竹を大蛇に見立て伐る早さを競って豊凶を占います。僧兵姿の大惣（おおぞう）法師が使用する刀は真剣であり、その気迫は見る者を飲み込んでいきます。

竹の長さ等の条件を合わせるための『竹ならし』では、一振りに掛けられる雄々しい声の迫力に圧倒されることでしょう。竹が伐り落とされた際には見物人から拍手が起こります。いよいよ『勝負伐り』が始まります。男性たちが我先にと竹を伐る姿はまさに圧巻で、最初から最後まであっという間に感じることができるでしょう。

『竹ならし』『勝負伐り』の合間に披露される舞楽も優美で重厚感があり見所の一つです。



チェックポイント！

竹伐り会式終了後、本殿前の舞台に落ちている竹の破片を子どもたちが魔除けや無病息災の効果があると拾って帰る光景が見られます。これはお寺が広めたわけではなく、いつのまにか広まっていた風習だそうです。

鞍馬山竹伐り会式 インタビュー

鞍馬山竹伐り会式 保存会

取材陣代理
さきちゃん＆ようくん

祭りには若い人もいらっしゃいましたが、
出ていた方たちそれぞれの役割はありますか？

ようくん

保存会

鞍馬は**7つの仲間**（大惣・僧達・宿直・名衆・脇・大工衆・大使）に分かれていますが、**竹を伐ることができるのは大惣法師のみ**です。
その家の子どもは、はじめは「**七度半の御使**」の役（「竹ならし」の前に導師、両座にあいさつする稚児の役）で出ます。15～20歳くらいになれば竹を伐る役になりまして、30歳を過ぎれば竹を回す「**まわし役**」になります。

ふむふむ。

さきちゃん

その後は「**あき役**」となり、祭儀の目配りをしたり、若い人を指示したりします。
最後に十徳を着て子どもたちを連れてくる一番長老の役になります。
高齢になると竹を伐るのが難しくなるでしょ？
だから若い間は活動的な役をして、年をとるにつれ役が上がり指導者の方にまわっていくんですよ。

なるほど。
この先、心配なことってありますか？

最近は少子高齢化ですからね。
昔、儀式は大惣法師の家の長男って決まっていたけれど、男の子が産まれない場合もあって、参加できる人数が減ってきているので、今では次男でも出られるようになったりと規定がゆるくなってきました。
また、わらじや装束のこと、刀を研ぐことなど、**伝統行事を続けていくには表面には出てこないことがいっぱいあります。**その担い手の養成や技術の伝承など、**いろんなことを含めて伝統行事が非常にやりづらくなってきている現状**ですね。うちの行事だけではないと思います。

それと私たちは真剣をつかってやっていますけれども、その分間違い（怪我）がないようにということを一番に考えています。



祭事 info

6/20 昼 14:00～15:30

京都市左京区鞍馬本町1074

叡山電鉄「鞍馬」下車すぐ
仁王門から本殿へはケーブル2分＋徒歩10分
または徒歩30分

075-741-2003　駐車場なし

松ヶ崎題目踊り・さし踊

妙法の字を背負い伝統を

五山の送り火のあと、日本最古の盆踊りといわれる松ヶ崎題目踊り・さし踊りが涌泉寺で行われます。1306年、村人たちが1人残らず法華宗に改宗したのを見た歓喜寺の住職、実眼は、歓喜のあまり飛び跳ねて自ら太鼓を打ち鳴らし、「南無妙法蓮華経」と音頭を取ったことがはじまりといわれています。

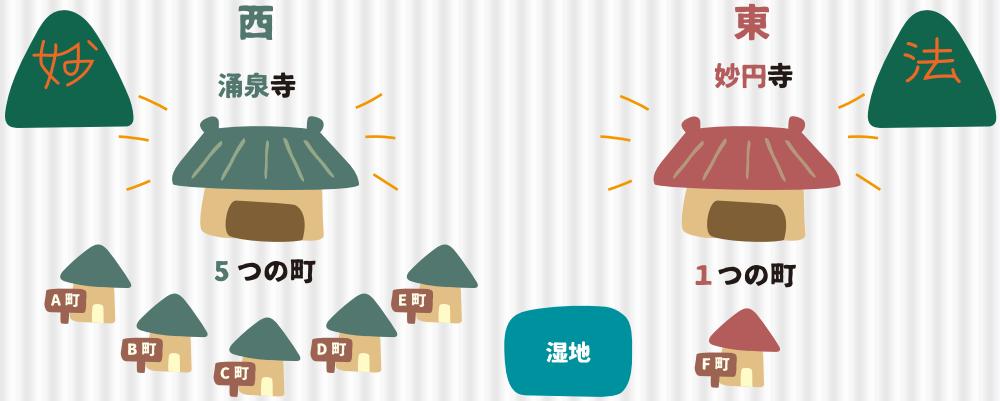
居合わせた村人たちが題目を唱えると踊りが始まります。男女とも背中に妙法と染め抜かれた浴衣、男性は角帯、腰に手ぬぐい、女性は三幅前垂れに赤いたすきの衣装で、右手に扇子を持ち、題目音頭に合わせて踊ります。さし踊りは、男性の音頭取り衆の音頭に合わせ、櫓の周りを輪になって踊ります。どちらも子どもからお年寄りまで幅広い世代が踊っています。学校教育に取り入れられ、誰でも踊りに参加できる、地域にひらかれた祭りです。

涌泉寺

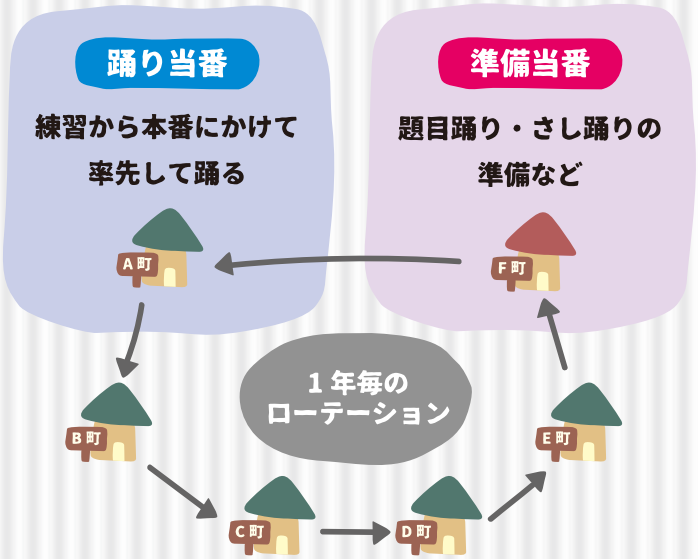
京都市登録無形民俗文化財



町の協力で今までもこれからも



昔、松ヶ崎は湿地を区切りとした西の町と東の町に分かれていました。
西の町には涌泉寺、東の町には妙円寺が建っています。
五山送り火の日には西の町で「妙」、東の町で「法」に火をつけています。



西と東の6つの町が協力して「準備当番」「踊り当番」という役割を
1年毎にローテーションして「題目踊り・さし踊り」を続けているのです。



祭事 info

8/15 夜 20:00～ 8/16 夜 21:00～

京都市左京区松ヶ崎堀町53（涌泉寺）

市バス（65・北8系統）京都バス（56系統）「松ヶ崎海尻町」徒歩8分
地下鉄烏丸線「松ヶ崎」徒歩10分

075-722-1810　駐車場なし



まんとうろうやま・だいこくてんやま　まつがさきみょうほうおくりび

万燈籠山・大黒天山 松ヶ崎妙法送り火

京都市登録無形民俗文化財

夏夜を照らす二山の炎

大文字で全国的にも有名な京都の五山送り火。妙法送り火はその一つで、松ヶ崎西山(万燈籠山)に「妙」、松ヶ崎東山(大黒天山)に「法」の字がそれぞれ点火されます。「妙法」の二文字は同時に書かれたものではなく「妙」の文字が先に、「法」の文字があとから書かれたと伝えられています。

当日、山には松ヶ崎立正会(涌泉寺及び妙円寺の各寺の檀家等)の人々しか立ち入ることはできません。立正会の人々は背中に妙法の文字が両山に点火されている様子を描いた法被を着て点火作業を行います。

妙法の文字は午後8時5分に点火され、それと同時に西山では僧侶によって読経が行われます。点火作業を終えると立正会の人々は、火床から夜空に舞い上がる火の粉を見つめながら先祖の魂が空に帰っていく様子を見送ります。

点灯時間は30分ほど。その間、両山では地面に落ちた火の粉が燃え広がらないように、消防団の方々によって水が撒かれるため、安心して仏事に根ざした伝統行事を行うことができます。多くの人は目にすることができない部分ではありますが、地域のいろいろな人の協力により成り立っているのです。



実はお互い見えていない

妙法の文字がある万燈籠山と大黒天山は隣同士にある山とはいえ、実は登ってしまうと間にもう1つの山があるためお互いの山の火床を確認することができません。どのように同時に点火し、消火しているかというと、この二山が見える南側のビルの屋上でライトを点灯して合図を送ってタイミングを合わせているそうです。

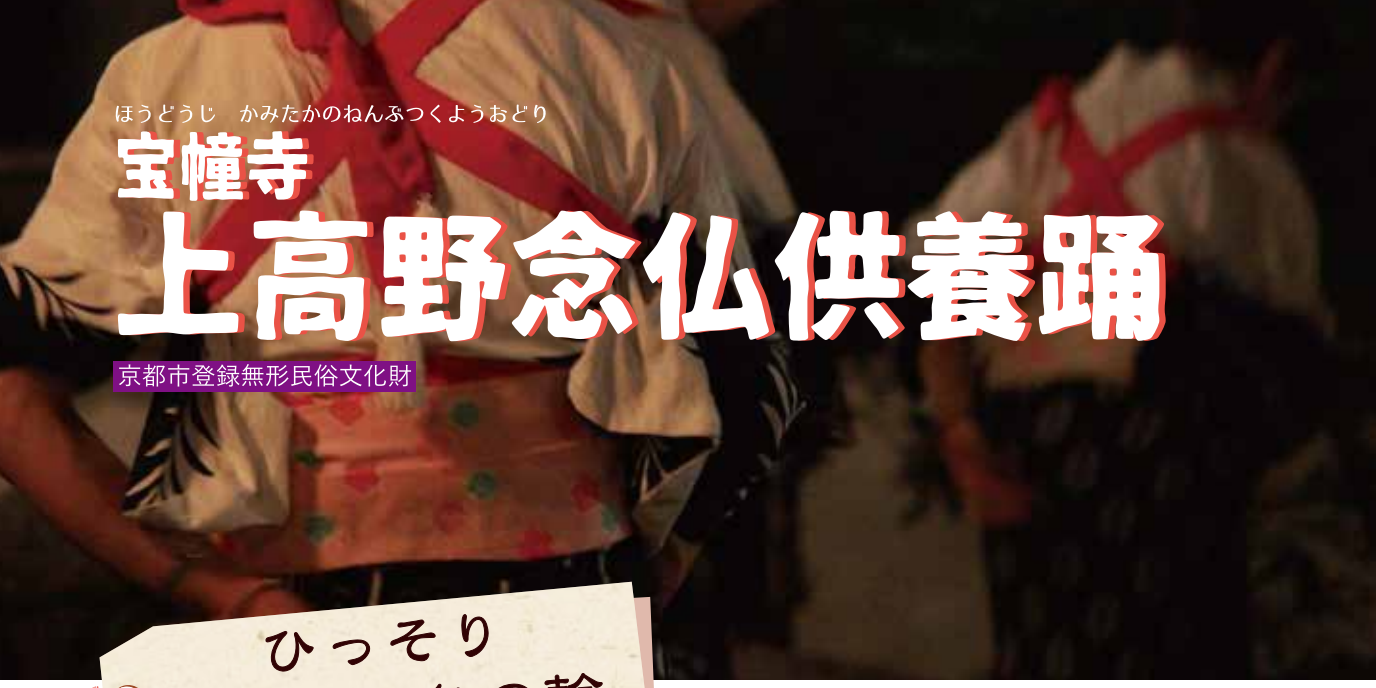


祭事 info

8/16 夜 20:05～

妙：松ヶ崎西山　法：松ヶ崎東山

駐車場なし



ほうどうじ　かみたかのねんぶつくようおどり

宝幢寺 上高野念仏供養踊

京都市登録無形民俗文化財

ひっそり行われる仏の輪

上高野念仏供養踊は、1年間に地域で亡くなられた方々の回向を行います。大正時代末期に一時途絶えてしまったものの、後に当時の様子を知る方々により復興され、今現在も里人により踊り継がれています。

「念仏おどりが始まるほどに、やたらつらって踊ってたもれ」と口上が述べられると、踊りの始まりです。太鼓、鉦に合わせて、念仏を唱えながら境内に設けた施餓鬼台を中心に円を描くように踊ります。念仏供養踊が踊り終わると、亡くなられた方々の身内によるお焼香が施餓鬼台で行われ、その後、再び念仏供養踊が行われます。踊り子の女性たちは揃いの浴衣に赤いタスキを掛け、作業用前掛けである三幅前垂れを腰に巻き、団扇を片手に踊ります。女性たちが並ぶ姿は現世を離れた世のようで美しく、踊りは厳かな雰囲気でひっそりと行われます。

【注釈】回向とは仏事を営んで死者の成仏を祈ることです。
施餓鬼台とは、供物や焼香がささげられる台です。

流れる滝の音

宝幢寺の境内には梅谷川より水が引かれる夢想の滝があり、かつては滝上に観音像が安置されていたと伝えられています。寺を建てた旭移上人が滝の音を「観音経を誦する声」として出家し、小屋を建てて暮らしたと伝えられています。





祭事 info

8/19 夜 20:00〜

京都市左京区上高野釜土町 17

京都バス（10・16・17・18・19系統）「三宅八幡」徒歩10分
叡山電鉄「三宅八幡」徒歩8分

075-791-8511（上高野念仏供養踊保存会）　P 駐車場あり